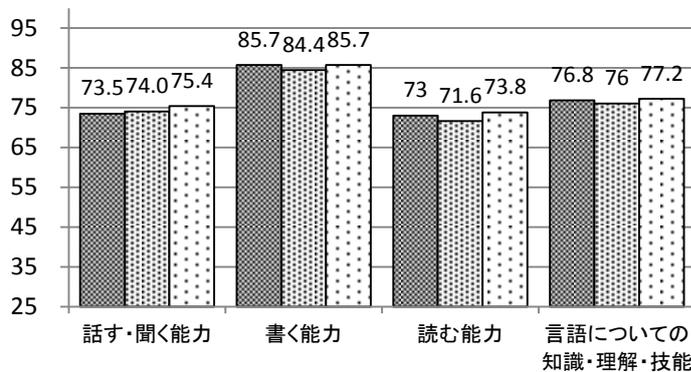


平成29年度 全国学力・学習状況調査結果について（中学校3年生）

国語 相手に伝わりやすい語句を選択し、文章を書くことに課題がある。

●国語A（知識）

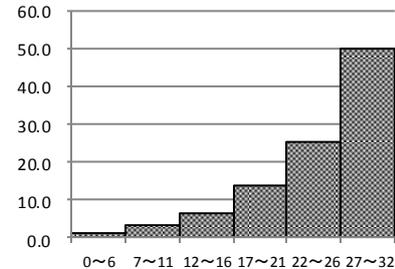
(%)



■ ふじみ野市 ■ 埼玉県 □ 全国

| 国語A 平均正答率(%) | |
|--------------|------|
| ふじみ野市 | 77.0 |
| 埼玉県 | 76.0 |
| 全国 | 77.4 |

(%)



【正答率が高い問題】

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|-------------------|--|----------------------|----------------------|
| 9二 1 2 3 | 漢字を読む (覚悟を決める) (鮮やかな色合い) (水が垂れる) | 文脈に即して漢字を正しく読む | 98.0 95.4 94.9 |
| 9三 エ オ | 適切な語句を選択する (私は映画が大好きです。ただし、映画なら何でも見るわけではありません) (チームの勝利を確信する) | 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う | 94.5 93.6 |

文脈に即した漢字を正しく読むこと、語句の意味を理解することについては、正答率が高い傾向にある

【課題が見られる問題】

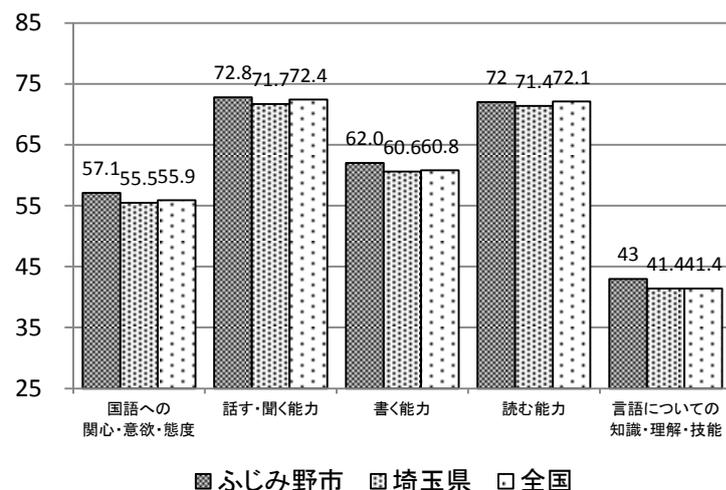
| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|---------|------------------------------|-------------------------|--------|
| 9五 | 話合いの記録として適切な言葉を考える | 事象や行為などを表す多様な語句について理解する | 34.9 |
| 9六 1 | 楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する | 楷書と行書との違いを理解する | 51.6 |

伝統的な言語文化と多様な語句への理解に課題がある

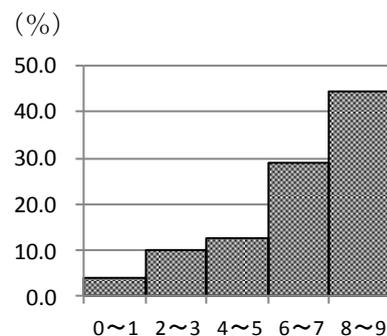
小学校と同様に、国語の授業だけではなく、全ての教科において、連携を図る横断的な学習活動が必要となります。

●国語B（活用）

(%)



| 項目 | 平均正答率(%) |
|-------|----------|
| ふじみ野市 | 73.0 |
| 埼玉県 | 72.0 |
| 全国 | 72.2 |



【正答率が高い問題】

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|--------|--|--------------------------------|--------|
| 1 一 | 本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する | 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する | 84.2 |
| 1 二 | 地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す | 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する | 82.0 |
| 2 一 | スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する | 目的に応じて資料を効果的に活用して話す | 86.4 |

文章を適切に読み取ることは正答率が高い傾向にある

【課題が見られる問題】

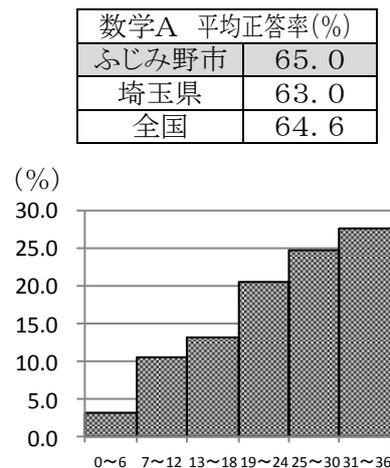
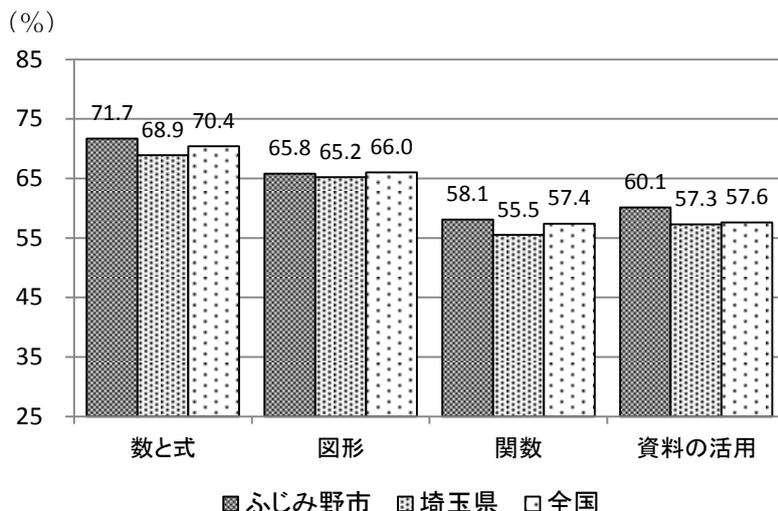
| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|--------|-----------------------------|--|--------|
| 1 三 | 比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く | 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く | 43.0 |
| 2 三 | スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す | 相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す | 58.5 |

自分の思ったことや考えたことを、相手に分かりやすく伝えるように工夫して表現することについて、課題がある

自分の考えと書かれているものの見方や考え方を対比させ、考え方や表現の仕方を広げる活動や、自分の伝えたいことが聞き手に対して十分に伝わる表現になっているのか、話し手と聞き手の両方の立場を考えて表現する等の工夫が必要です。

数学 数学的な表現を用いて、説明することに課題がある。

●数学A (知識)



【正答率が高い問題】

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|----------|--|---------------------------------------|--------|
| 1 (1) | $\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$ を計算する | 分数の乗法の計算ができる | 86.6 |
| 1 (4) | 3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す | 実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している | 90.7 |
| 4 (2) | △ABCを、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく | 平行移動した図形をかくことができる | 90.1 |
| 5 (2) | 1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ | 円錐が回転体としてどのように構成されているかを理解している | 88.0 |

分数の乗法の計算、実生活の場面での正の数、負の数の利用、平行移動・回転体については正答率が高い傾向にある

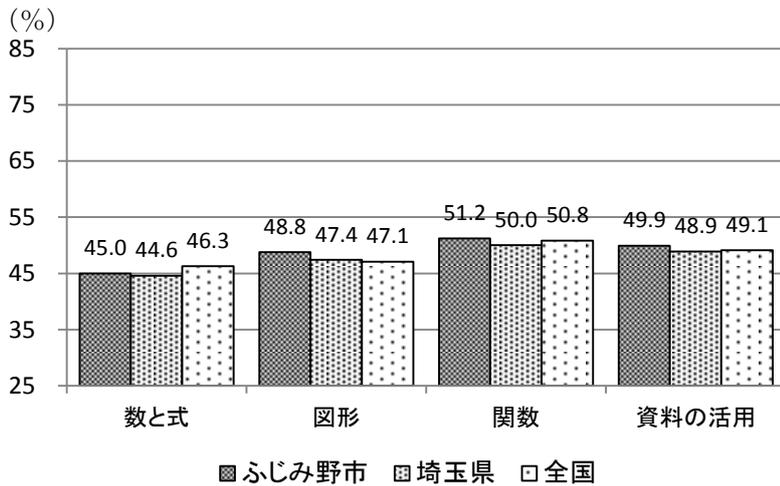
【課題が見られる問題】

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|-----------|---------------------------------------|-------------------------------|--------|
| 4 (3) | 半径が5cm、中心角が120°の扇形の弧の長さを求める | 扇形の弧の長さを求めることができる | 30.3 |
| 9 | 長方形の縦の長さとの面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する | 関数の意味を理解している | 19.7 |
| 10 (3) | 反比例の表から比例定数を求める | 与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している | 35.1 |
| 14 (1) | 反復横とびの記録の範囲を求める | 範囲の意味を理解している | 29.0 |

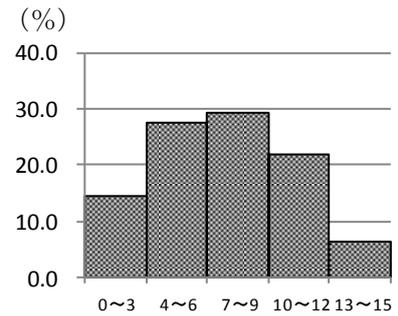
扇形の弧の長さを求めること、「関数」、反比例における「比例定数」、「範囲」の意味について課題がある

数学用語の意味を正しく理解する指導を行うとともに、その用語を用いた具体的な事象を考察する場面を設定することや、数学的活動を通して式の意味を理解する指導等の充実を図ることが必要です。

●数学B（活用）



| 数学B 平均正答率(%) | |
|--------------|------|
| ふじみ野市 | 49.0 |
| 埼玉県 | 48.0 |
| 全国 | 48.1 |



【正答率が高い問題】

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|----------|---|------------------------------------|--------|
| 1 (1) | 隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ | 事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる | 71.9 |
| 2 (1) | 六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める | 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる | 78.6 |
| 3 (1) | 与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万m ³ であったことを表す点を求める | 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる | 91.5 |

問題を読み取り具体的な場面について解決をする問題については正答率が高い傾向にある

【課題が見られる問題】

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率(%) |
|----------|---|--|--------|
| 1 (2) | 四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様に重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する | 2つの図形の間を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる | 12.1 |
| 2 (3) | 六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を、 $6 + 5(n - 1)$ という式で求めることができる理由を説明する | 事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる | 13.7 |
| 3 (2) | 与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万m ³ になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する | 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる | 19.6 |
| 5 (3) | 「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する | 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる | 23.6 |

事象を数学的に解釈、分析し、数学的な表現を用いて説明することや、式が成り立つ理由を説明することに課題がある

国語科を中心に全ての教科で相手に分かりやすい表現で伝えられる力を育むとともに、数学科の授業では問題解決の方法を数学的な表現を用いて分かりやすい表現で説明する活動をさらに充実することが求められます。